

長 蓮 寺 報

NO.7 (平成14. 12. 3)

無病息災

また、今年も師走がやって参りました。早いものですね。1年1年がどんどん早くなるような気がします。正月が近づくにつれ、お札の準備など お正月の用意で慌ただしくなります。十月のお会式過ぎより、徐々に準備し始めていけば、とても楽に過ごせると毎年思うのですが、何かと所用が出来てしまい、師走に入ってバタバタしております。

この季節になりますと、「〇〇さん、今年はいいい年だったかね？」

「うん、孫も出来たし、息子の病気もたいしたことなくて…」などと..

どこからともなく1年のご挨拶が聞こえて参ります。このような会話を聞くとなんだかホッとします。

今年是我が寺では色々アクシデントが続きました。四月には、原因不明の高熱で約一ヶ月の入院生活を余儀なくされ、八月のお盆の頃には、不注意により右足首を遷座してしまい、お盆の棚経の時には色々皆様にご心配をおかけいたしました。また、十月のお会式には、家内が歯の治療でおやしらずを抜いたことにより、そこから細菌が入り、口の周りが腫れ上がり、しばらくモノが食べれない等々...

なにか寺の行事の度ごとに不運に悩まされた1年でしたので、巷のこういった会話を聞くと、本当に1年間家族が無事で過ごせるありがたみを身にしみて感じる年でした。

ところで、私達のお唱えしているお経の中に「荒野をさまよう旅人の譬え」のお話があります。とある荒野を旅人が歩いていると、飢えたトラがやってきて、その旅人に襲いかかりました。旅人は一生懸命逃げますが、トラの方が走るのが速くて逃げ切ることが出来ませんでした。もうだめだ！というとき、丁度、井戸を見つけました。しかも、幸いにも井戸の傍らには大木が生えていて、その根が井戸の中深くまで張っています。コレは幸い！と喜んで根につかまりながら井戸の中に降りようと思いました。すると、途中でとても甘い水滴が入り、その甘みの快樂によって早くしたまで降りれば良いのに彼は周りが見えなくなり立ち止まってしまいました。

井戸の上にはトラが待ち構え、掴まっている木の根はネズミが齧っていて、もう切れそうです。そう言った現実があるにもかかわらず、その甘い滴の為に今の現実を何もかも忘れ、気づくこともない。しかし、何かをきっかけにして、ふと正気に戻ることがある。これが人間の性なのだそうです。

ここ1年運が悪かったね。と言ってしまえばそれまでですが、「家族全員が健康で十分幸せなんだ」と気づかせて頂いたことに感謝したいと思います。

皆様にとって平成15年が幸多き年になりますように。

合掌

平成15年 年忌表

1 周忌	平成14年	1 7 回忌	昭和62年	3 7 回忌	昭和42年
3 回忌	平成13年	2 3 回忌	昭和56年	4 3 回忌	昭和36年
7 回忌	平成 9年	2 7 回忌	昭和52年	4 7 回忌	昭和32年
1 3 回忌	平成 3年	2 3 回忌	昭和46年	5 0 回忌	昭和29年

長蓮寺の基礎知識Q & A

Q：鬼子母神様について教えてください

鬼子母神様は「法華経」の26番目の「陀羅尼品」と言うお経の中に説かれている神様で、「きしもじん」とお呼びします。

鬼子母神様のお像は大きく分けて2種類あります。ふくよかな美人系と鬼の形相の大体2種類あります。

長蓮寺の鬼子母神様は、前者のふくよか系で右手にザクロの枝を持ち、懷に子供を抱いておられ、小さな子供を連れておられます。

鬼子母神様の物語

鬼子母神様は、元々の名を訶梨帝母（ハーリーティ）と言い、とても美しい女神でした。王舎城（おうしゃじょう）近くに住む夜叉で、般闍迦（バーンチカ）と言う鬼神と結婚しました。その後、彼女には500人（一説には1,000人）ものたくさんの子供が生まれました。

恐ろしいことに夜叉である彼女はこの愛する子供達を育てるため、なんと…人間の子供をさらってきては食べていました。

ハーリーティの業行に人間達は、恐れ苦しみ、お釈迦様に相談しました。

お釈迦様は一計を案じ、鬼子母神が最もかわいがっていた一番下の子供の姿を神通力（超能力？）で隠してしまいました。

ハーリーティは、必至になり探し回りましたが、当然見つかるはずありません。途方に暮れ、藁をもつかむ思いで、お釈迦様の元に助けを請いにきました。

そこで、お釈迦様はハーリーティを諭します。

「500人の子供の内、たった1人いなくなっただけで、おまえはこのように嘆き悲しみ、私に助けを求めてきた。方や、人間にはたった数人しか子供がいない。このような大事な子供達がお前にさらわれて、人間の親の悲しみはいかばかりか？その気持ちが、今のお前だったら判るであろう？」

「命の大切さと子供を可愛いことには人間でも鬼神でも変わりはないのだよ」と諭し、神通力で隠したハーリーティの子供を返しました。

ハーリーティはお釈迦様の教えを受け、改心し、以後は自分の子供ばかりか、全世界中の子供達、お釈迦様の教えを信じる人たち、すべてを守ることを誓いました。これ以後、ハーリーティは「鬼」ではなく、仏教と子供の「守り神」鬼子母神とられました。

長蓮寺の鬼子母神様の「鬼」の字は、「**鬼**」の文字を使います。

何故でしょうか？

上のお話のように、元々のハリティーはまさに鬼そのものでした。しかし、お釈迦様の教えを受け、改心して鬼→神になりました。

そのことを表すため「鬼」の字の一画目の点、即ち 鬼の「ツノ」を取った字を使うのです。

鬼子母神様とザクロ

「ザクロ」は人の肉の味がするから、人間の子供を食べれなくなった代わりにザクロの実を食べてまぎらわしていた。と言う俗説もありますが

鬼子母神様は、今でも昔の悪行を捨てきれないのでしょうか？

そうではありません。

ザクロの実を見ると1つの実の中に沢山の小さな実があり、その一つ一つがそれぞれ小さな種をもっています。

この事から、ザクロは子孫繁栄を表す縁起の良い植物とされ、[吉祥果]とも言われています。鬼子母神様がこのザクロの枝を手を持つのは、子供の守り神として、「子孫繁栄」の願いが込められているのです。

また、ザクロは現代医学の見地からもすぐれた果実で、エストロゲンを多く含み、「女性ホルモン」のバランスを調べ、女性の方の生理不順などにも良く効くそうです。こんな理由もあり、鬼子母神様にはザクロをお供えするようになったのかもしれないね。

鬼子母神様の功德

病氣平癒・厄除け・法華経信仰者の守護・事業繁栄、特に「子育て・安産祈願」は有名です。

私の生まれ育った山形の寺でも鬼子母神様の信仰が厚く、皆さん 子供さんが生まれると必ず鬼子母神様へお参りに来られます。

この事を、山形では「鬼子母神様の取り子（とりご）」にさせていただく。」と申します。

この新しく生まれた赤ちゃんを鬼子母神様の子供の1人として守っていただくようにお祈りし、丈夫に育ちますようにと願う



◎ 立教開宗750年大法要に団参旅行 多数参加

本年は日蓮大聖人が「南無妙法蓮華經」を唱えられて750年の節目の年でした。新潟 三条のご本山でも5月の23～26日まで記念法要があり、この法要に合わせて4ヶ寺合同（本壽寺・本陽寺・岩瀬上行寺・長蓮寺）で日帰りでお参りして参りました。当初は、15名程度の参加者を予定しておりましたが、嬉しいことにたくさんの方々に参加(28名)頂き、バスを増台し行ってまいりました。誠にありがとうございました。

今回、都合で残念ながら御参加頂けなかった方も、また近年中に団参旅行を企画予定しておりますので、またふるって御参加ください。

◎ 大日蓮展について

立教開宗を記念して、来年の正月明けより（1/15～2/23）、東京、上野の国立博物館にて「大日蓮展」が催されます。

日本各地より、宗祖 日蓮様にまつわる品々が一同に展示されます。八尾町の別院本法寺の国宝絵曼荼羅なども出品される予定です。またとない機会ですので、東京へお出でになる予定の方は、是非、見ていらっしやってください。

尚、この特別割引拝観券がお寺にあります。ご希望の方はお寺までご連絡ください



—華ひらく京都町衆文化—
日蓮と法華の名宝



◎ 平成15年年頭祈禱会・七日会・写経会のお知らせ

- 1月13日（月）成人の日 午前11時より
7日会の年頭祈願会を開きます。
ご希望の方は別紙の申込用紙にご記入の上お申し込み下さい。
- 毎月7日午後2時よりお経の練習会をひらいております。
参加費無料になっておりますので気軽にお越し下さい。

○次回の写経会は3月7日（金）午後1時を予定いたしております。